在留外国人統計テーブルデータのご利用方法について

１．概要

「在留外国人統計テーブルデータ」（以下「本データ」といいます。）には、在留外国人数に係る次のデータが入力されています。

（１）国籍・地域別
（２）在留資格別
（３）都道府県別
（４）年齢別
（５）性別

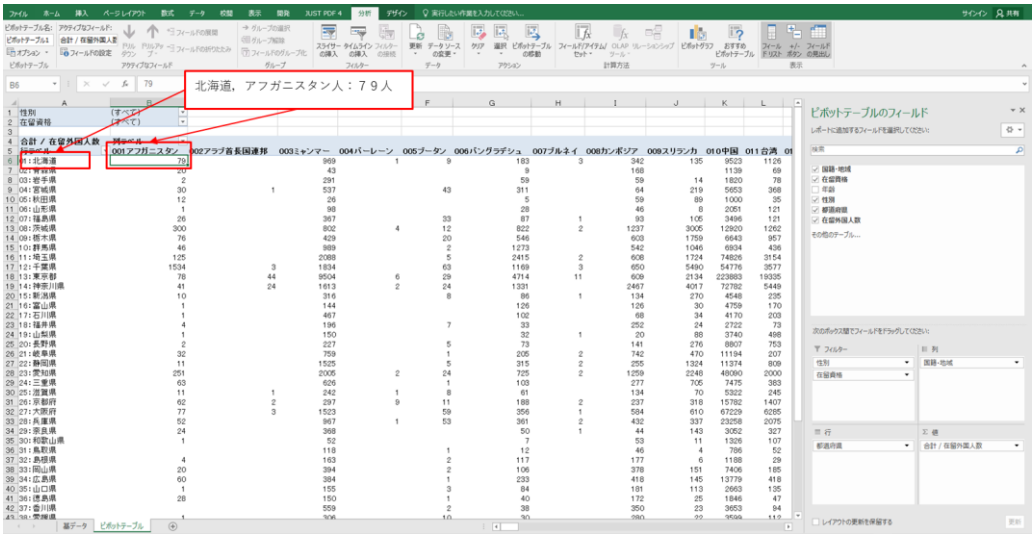
以上のデータをエクセルのピボットテーブル機能を用いて組み合わせることで、自由にクロス表を作成することができます。

２．利用方法

（１）データの見方

ダウンロード時には「ピボットテーブル」シートにエクセルのピボットテーブル機能を用いた表が都道府県別、国籍・地域別で表示されています。

※０人の部分は空欄で表示されています。



見方：「（令和２年末現在）北海道において在留中のアフガニスタン人は７９人」

（２）操作方法

主な操作例を記載します。

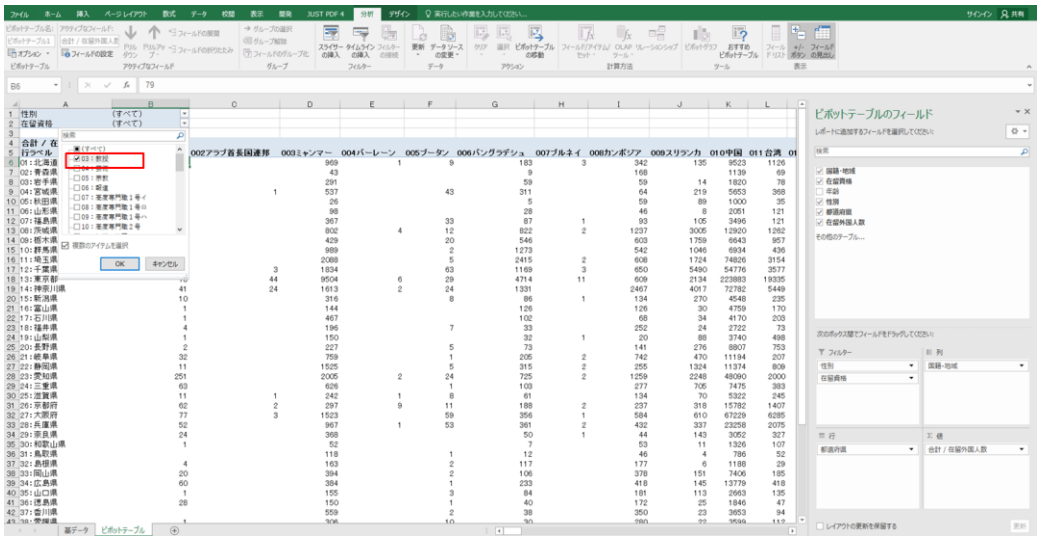
本データはエクセルのピボットテーブル機能を用いており、本書に記載されているものはピボットテーブル機能の基本の一部のみで、本書に記載されていない機能も

存在します。

ア　表にフィルターを設定する

画面左上にフィルター機能が表示されています。

ダウンロード時は在留資格が「（すべて）」になっており、フィルター機能で「03:教授」を選択すると、在留資格「教授」のみの都道府県別、国籍・地域別在留外国人数が表示されます。

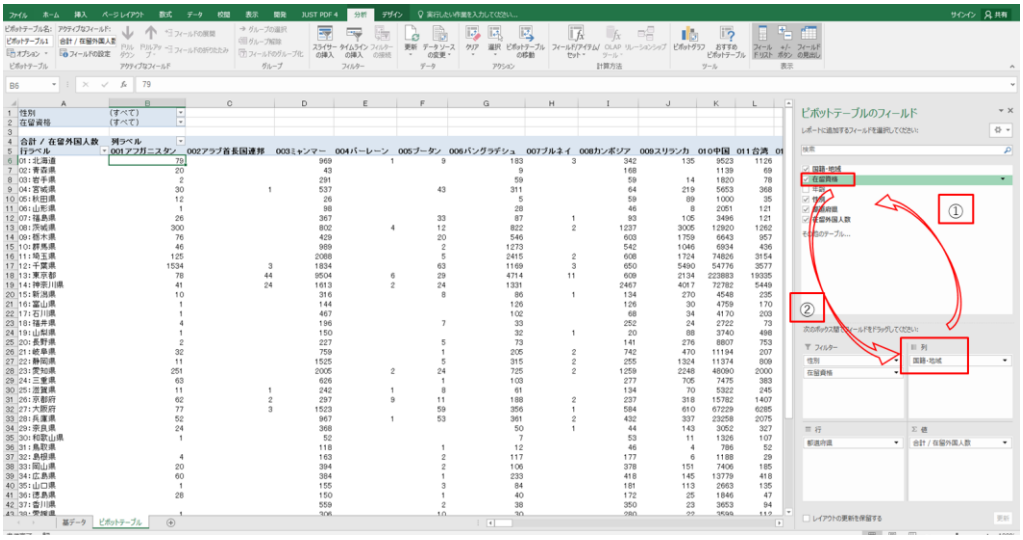


※フィルターは複数の項目を同時に選択できます。例えば「23:技能実習１号イ」「24:技能実習１号ロ」をどちらも選択すれば、「技能実習１号」をまとめて表示させることもできます。

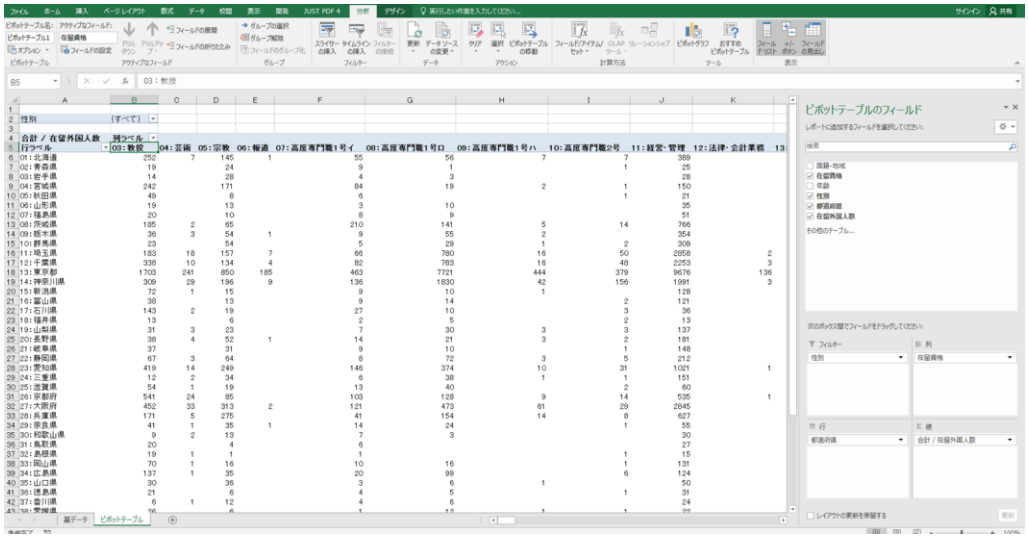
また、「性別」のフィルター機能を使用することで、男性又は女性のみの数値にすることができます。

イ　国籍・地域別を在留資格別へ変更

次の図のように、ピボットテーブルのフィールドの「列」枠の①「国籍・地域」をクリックしたまま上の枠に移動させ、代わりに上の枠にある②「在留資格」をクリックしたまま「列」枠に移動させます。

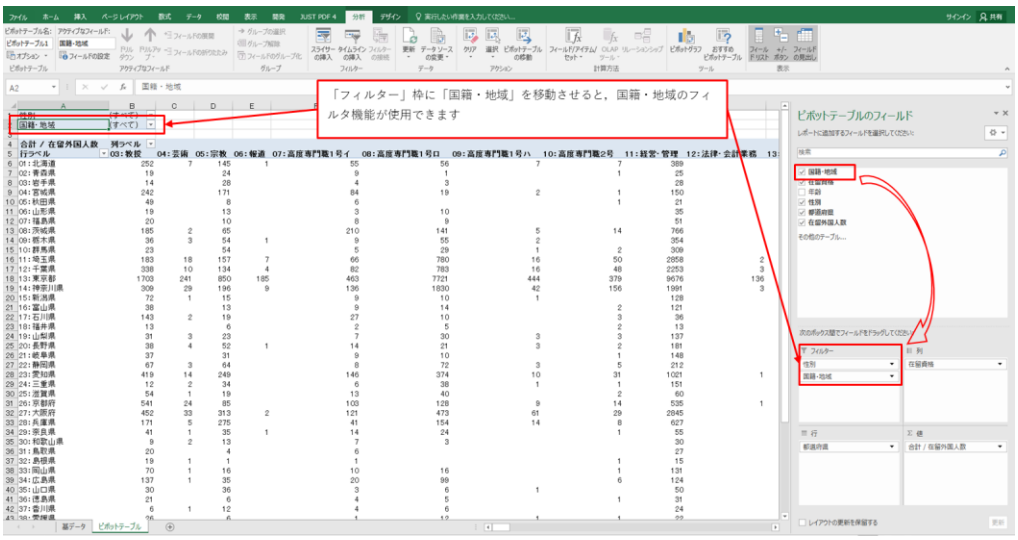


移動後は次の図のように、表の列項目が在留資格別になります。



同じような操作で、行列の項目を自由に組み合わせることができます。

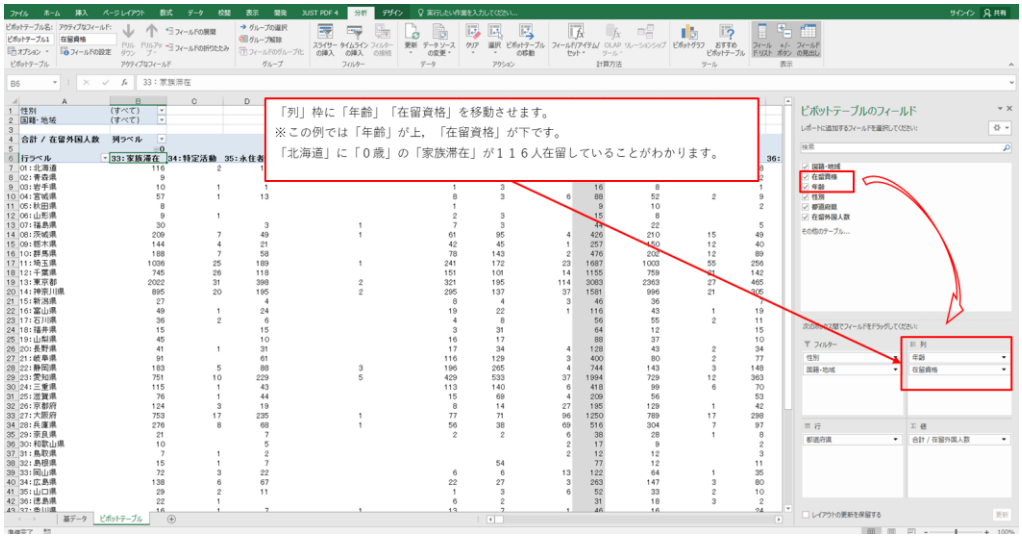
また、上記アのフィルター機能に「国籍・地域」の項目を追加する場合は、ピボットテーブルのフィールドの「フィルター」枠に「国籍・地域」を移動させます。



ウ　列（又は行）に２つの項目を同時に表示させる

例えば、行に都道府県、列に年齢別・在留資格別の表を表示させたい場合、列に「年齢」「在留資格」を移動させます。

移動後は次の図のようになり、都道府県別、年齢別、在留資格別の在留外国人数が表示されます。



ご利用目的に応じて、上記ア、イ、ウの操作を組合わせてご利用ください。